

# かさおか

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314



「第5回全教野球大会 =よのもと会主催=・準優勝」の盾

昭和52年4月22日、笠岡大教会は決勝戦で優勝候補筆頭の奈良教区と旧天理高校野球場で対戦。健闘及ばず6-1で敗れたが、準優勝に輝いた。全教から26チームが参加。監督は故田中一之氏、キャプテンは岡本久善氏。今年(2014年)は41回。35チームが参加。現在は布教部・体育活動事務局主催。盾は大教会神殿南側花展示場に展示してある。(10月15日撮影)

教祖130年祭に向かって

三年千日 さあ！ おたすけ  
祈る 動く つなぐ

立教177年  
10月号



**全分会布教推進週間**  
9月7日～14日  
**青年会**

9月7日から14日までの「全分会布教推進週間」の間、各分会で布教活動を展開した。初日の7日は、「たすけの渦を巻き起こそう推進のつどい」の中で、神名流しや路傍講演を行った。

また、7日以降は、それぞれのブロックで活動をした。平日の夜には、福山・久松・海松ヶ岡・府中市の各教会を拠点に、神名流しを行った。

**よふぼく勉強会開催**  
**テーマは「僕と家族」**  
9月月次祭後  
**育成部**

育成部(吉岡壽部長)では9月21日、大教会9月月次祭後、会議室で「僕と家族」をテーマによふぼく勉強会を開催、25人が参加した。

今回のテーマについて講師のンジエ・サムエル・カリウキさん(大教会青年・米府分所属)は、まず故郷のケニアでの生活について、水は川の水を汲んで飲料水などに利用するため清潔ではないことや、苦しい日常生活の状況について説明。

信仰の始まりは母親の身上からで、ケニアに何度も布教に来られた、笠岡大教会関係の方のおさづけを受けてご守護を頂き、感銘して来日、おちばで天理教の教えを学んだことを話された。

また、おふでさきの中のお言葉を引用され「かしもの・かりもの」の教理を強調された。

引き続き、受講者からの質問もあり、和氣藹々の内に終講した。

本年の同勉強会は今回で終了。来年は2月から開催予定。



素直な信仰に聞き入る参加者

<実行目標>人のたすかりを願いましょう



**おたすけ・お願いカード 集計：47, 281枚**

平成26年8月21日～9月20日

**累計：457, 437枚**



# 「テッチャン

## シアター」開催

9月月次祭後

少年会

夏休みも終わって9月になりました。9月21日(日)、今月も嬉しい事にお休みと重なって少年会では「テッチャンシアター」を開催し少年会員48人・育成会員31人の参加の中、少年会委員藤井保人先生の進行で執り行われました。

「四つ葉のクローバー」というお話、皆さんご存知ですか？三つ葉はどこにでも普通のところ普通に生えています。四つ葉というのは突然変異で出るのだそうです。それも人が踏みつけるところに…。四つ葉のクローバーを見つけたら大抵人は喜びます。幸せを運んでくるからと？少年会の皆さんもお父さん・お母さん・おうちの人が何か言った時、たとえそれが自分にとって都合な事でも素直に聞きましょう。また、嫌な事・つらい事があっても踏みつけられている四つ葉のクローバーのように「なにくそ!!」と思って頑張らしましょう。そうすると神様が幸せを運んで下さる、幸せな方向に導いて下さる。というお話でした。

わずかな時間でしたが素敵なお話をステキに話

しかけて頂きました。また先月はまだ「テッチャンシアター」を知らなかったと言われた方が今月はお孫さんを連れて参加して下さい、だんだんと浸透していつてるのかなと嬉しく思いました。次回は12月の月次祭に予定していましたが、都合によりお休みさせて頂きます。

(少年会委員 丸山 哲子)



楽しいお話を聞く少年会員

# 第2回わかぎ練成会

## 「てっちゃんとおそぼう」開催

9月月次祭後

少年会

少年会笠岡団(武内正美団長)では、9月21日大教会祭典終了後、午後2時から講堂で、第2回わかぎ練成会「てっちゃんとおそぼう」を開催、少年会員約20人(内わかぎ8人)・育成会員15人が参加しました。これは次代を担うわかぎ層(中学生)をリーダーとして育成することに主眼をおき、ゲームや歌などを人前で披露することにより、発表力を養うことを目的としています。

今回は「ステージの作り方講座」と題して3つのグループに分れてシヨーブぐりに取り組みました。まずは、シヨーブのテーマを決め、役割分担(モデル・司会・スタイリスト・BGM・演出)を行い、構想を練り、アピールする所、盛り上げる要素など具体的に考えを巡らし、流れを作りました。

そして、いよいよシヨーブタイムの始まりです。カツラや衣装をまとう事でモデルになり、音楽で雰囲気醸し出し、動作もスムーズになり、更に司会が加わり、物語のメリハリがより伝わるように感じました。中でも見事女性に扮した男子は、もともとの笑顔に加え、化粧の仕上がりが良



ショータイムのリハーサル

く、明日からの日常生活に支障を来すのではないかと心配されるほどでした。その後、表彰式を行い、賞品を渡し4時頃終了しました。各教会の少年会員のリーダーとして会活動を盛り上げ、小さな子供達の手本となるように多くの物事を吸収して、やがては用木へと育つてほしいと思います。

(少年会委員 藤井保人)

## 教会おとまり会の報告

### ▼坪生隊

実施日 26年8月7日〜8日

参加者数 少年会員6 育成会員14 合計20

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひのきしん、

神様のおはなし、お風呂、どこかへ出かける、食事。

感想 川の予定が台風のため、倉敷科学センターになり、例年では違う興味深く遊んだり

勉強したりしていました。これはこれでよかったと思います。又、高校生も手伝ってくれたり又久しぶりの再会を楽しんでいました。大教会のお風呂をお借りしました。ありがとうございました。またよろしくお願ひします。

### ▼稲瀬隊

実施日 26年8月9日〜10日

参加者数 少年会員3 育成会員2 合計5

内容 朝づとめ、夕づとめ、教祖のおはなし、お風呂、ゲーム、食事、台風の中でしたのでバーベキューを食べに行く。

### ▼天場山隊

実施日 26年8月18日〜19日

参加者数 少年会員7 育成会員2 合計9

内容 朝づとめ、夕づとめ、ひのきしん、

神様のおはなし、お風呂、ゲーム、食事、どこかへ出かける。

感想 参加者が去年より増えて良かったです。

### ▼島根隊

実施日 26年8月24日〜25日

参加者数 少年会員14 育成会員5 合計19

内容 朝づとめ、夕づとめ、ゲーム、食事。

感想 親戚が集まった時に開催しましたが、これからは常時の活動にできたら良いと思いました。

### ▼香地華隊

実施日 26年8月29日〜30日

参加者数 少年会員3 育成会員4 合計7

内容 夕づとめ、お風呂、食事。

感想 大人、小人共に楽しく有意義にすごせました。

▼引野隊

実施日 26年8月30日

参加者数 少年会員4 育成会員4 合計8

内容 ひのきしん、神様のおはなし、うた、どこかへ出かける、食事。

感想 小学校入学前の子供達ばかりです。で、内容については、これから子供達の成長と共に、考えていけると思うのでたのしみです。

・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介 ③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事等々

字 数

1000字前後(800字～1200字)  
題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。  
俳句等は一句からでも結構です。

寄 稿 先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。  
郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377  
FAX：0865-66-1314  
メール：[tenkasa@yahoo.co.jp](mailto:tenkasa@yahoo.co.jp)

こころの詩

笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載されていましてので転載させて頂きます。おめでとうござります。

▼天理教道友社発行『天理時報』より転載

▽9月28日付「時報俳壇」

・備中分教会 塩飽利子さん

暮なずむ棚田の稲穂明かりかな

▽10月12日付「時報歌壇」

・芦品分教会教人 金谷眞佐代さん

初めての路傍講演嬉しさと

恥ずかしさあり そして感動

・海松ヶ岡分教会よふぼく 藤井光子さん

秋場所の競う姿を見るにつけ

相撲好きなる父を想いぬ

▼養徳社発行『陽気』誌十月号、「道柳」より転載。今回の課題は「立」。

▽準 秀 詠

・東悠分教会前会長夫人 田林美智子さん

立ち並ぶ紫紺の教旗はためく理

▼表紙写真

(吉岡輝昭かさおか編集部員)

<本部巡教>

- 趣 旨 教祖130年祭三年千日活動の最後の一年を迎えるに当たり、教祖年祭の意義の徹底を図る。
  - 日 時 12月21日(日) 大教会月次祭祭典後
  - 巡教員 深谷善太郎本部長
  - 対 象 大教会役員・大教会おつとめ奉仕人・教会長・布教所長ほか
  - 巡教次第 巡教員の手に合わせて、親神様、教祖、祖霊様礼拝、巡教員講話(一時間)、大教会長閉講挨拶、おつとめ(拍子木:巡教員、数取:大教会長)
- ※月次祭は午前九時三十分開始。服装はハッピー・ネクタイです。

<海外部>

○海外伝道講習会

- 日 時 11月21日祭典講話として
- 講 師 おやさと研修所所員 森 洋明 先生



# 第2回

# 若人の集い

# 50th

# 11/23(日) 2014

## MENU

受付 9:15~

開講 9:45~

第一部 10:15~

- ・講話「メキシコでの奇跡 仮題」
- ・紹介ビデオ「笠岡部内の会長さん ようぼくさん」

第二部 12:00~

- ・ふれあいクッキング  
世界の料理を作りましょう



15:00解散予定

## 講師紹介

中山仁 1973年生まれ  
山名部属 名陽分教会  
10年前より、年3回メキシコに渡航し布教を続ける。数々の奇跡を目の当たりにして、教祖の御存命を体感する。

会場 : 笠岡大教会

対象 : 20才~45才までの男女

参加費 : 500円

携行品 : 筆記用具

申込み : 各教会配布の申込用紙に記入の上、大教会神事所の回収箱へお入れ下さい 〆切 10月20日

お問い合わせは 大教会上原志郎まで



## 第884期修養科募集要項

### \*修養科期間

立教177年12月1日～立教178年2月27日

### \*教 養 掛

3ヶ月間 山 田 敏 教 (大教会准役員・甲井分教会前会長)  
 1ヶ月目 村 川 和 司 (大江橋分教会長)  
 2ヶ月目 矢 田 哲 一 (八 尋 分教会長)  
 3ヶ月目 福 島 泰 道 (瑞 北 分教会長)

### \*募集要項

- ・志願者は、12月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・11月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、明年2月29日午前10時に解散。

### \*教 科 書 (必須)

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』。

### \*参 考 書 (出来れば持参)

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

### \*携 行 品

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

### \*服 装

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
「別 席 願」	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席 札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・願書に日付を入れない事。 ・おさづけの理拝戴願の順序参拝も合せて行なう。
大教会 御供	○		
本 部 御供		○	・「別席の誓いの言葉」は別席の誓いの日までに覚えること。
「おさづけの理拝戴願」	○	○	
「おはなし」	○		・「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者のみ。 ・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		
本 部 御供		○	・御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学願」		○	
「修養科入学事由書」		○	
大教会 御供	○		
「住民票」		○	

立教百七十七年 九月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり	おつとめ	地方	役割		講話	祭主	扨者										
												区分	区分				指図方	賛者								
今川佐智子	上原順子	虫明好美	田中隆之彦	今川昌彦	森本忠平	笹尾正治	杉原博之	佐藤真孝	門脇郁子	田中まさみ	大教会奥様	上原繁道	岡本久善	大教会長様	渡邊隆夫	中島誠治	中村邦義	岡崎真一	門脇元教	杉原博之	大教会長様					
森本富美子	門脇加津	佐藤香苗	森本忠善	山野弘実	山田敏教	岡崎輝彦	上原浩次	上原繁次	高木孝子	内海安子	武内正美	三島真一	岡崎真一	中村邦義	高木昭祥	上原志郎	中村剛	十一月講話	指図方	賛者	海外布教推進講習会	赤木素志	森本忠善	上原繁道		
中村初美	三島照美	笹尾一美	赤木清志	武内史郎	内海立生	虫林久嗣	田林逸郎	横山小智	横山小智	谷内美知子	岡崎豊徳	中村道徳	門脇元教	上原繁道	浅野明教	谷内伸自	吉岡壽	後半	後半	後半	後半	後半	後半	後半	後半	後半

立教百七十七年 秋季霊祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり	おつとめ	地方	役割		講話	祭主	扨者										
												区分	区分				指図方	賛者								
岡崎豊子	森本富美子	佐藤香苗	上原繁次	岡崎真一	佐藤真孝	田林久嗣	虫明立生	浅野明教	上原順子	田中まさみ	大教会奥様	中村邦義	上原繁道	大教会長様	山野弘実	三島涉	中村剛	前半								
横山小智	谷内美知子	武内正美	福島大介	掛谷和由	高田一弘	三宅俊正	石井守	三阪泰人	中村初美	門脇加津	内海安子	豊田宏哉	吉岡貞彦	森本忠善	余村健	友井道弘	奥忠郎	後半								
												吉岡壽	内海史郎	上原浩												



## 九月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には「一れつのごどもハかわいばかりなり」とこにへたてわきらになけれど」と総ての子供が陽気ぐらしができるようにと分け隔てなく御守護下さりお連れ通り下さっております事は誠に有難い極みでございますしかしながら銘々の心得違いの上から身上や事情で苦しむ人が多くいます事は誠に申し訳ない次第でございます 人に先んじてこの道にお引き寄せ頂いた私共は 日々喜びと感謝の心一杯に朝夕に御礼申し上げますと共に「世界一列救きたい」との親心を一人でも多くの人に伝えるべくにをいがけ強調の月との句の理も得て 普段にも増してにをいがけおたすけにとたすけ一条の御用の上に努め励まして頂いております

その中にも今日の吉日はこの教会の九月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び心たすけ心も一人に明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをとめさせて頂きます 御前には同じく理に繋がる道の子供達が今日の日を楽しみに寄り集い 蒸し暑い夏から解放されカラッとした過ごししやすい秋の到来に感謝しつつ 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げますと共に四万四千五百四十枚のおたすけお願ひカードに 尚一層のたすけ心を添えて声高らかにお歌を唱和する皆の真実の状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて明後日二十三日は「かさおかにをいがけデー統一」とさせて頂き各教会でようぼくの集い参加者の丹精と成人目標の更なる徹底を計らせて頂く所存でございます 又にをいがけ強調月の総仕上げとして月末二十八日から三十日まで全教一斉にをいがけデーが実施されます おちばの思いに添わせて頂くべくようぼくの集いに参加して下さいました人を始めようぼく信者にしっかりと声掛けし全教一斉の姿に近づかせて頂く所存でございます

更には又来月は秋の大祭月でございますので直轄教会へ大祭参拝をさせて頂きます 立教に込められた親の思いを改めて思案すると共に 年祭活動二年目の歩みを確認するべく成人目標を改めて見直し 皆が「おつとめ奉仕人増員」という一つの目標に向かって一つ心で実働する事の大切さを共有して 成人の歩みを早めて行く所存でございます

何卒親神様には 教祖の年祭に向かうこの句 自分さえ我が家さえ良ければの人間思案を忘れて 親孝心一筋にたすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に自由の御守護を賜り 親神様の御守護の世界である事に気付かきかしのかりものの理が治まって御恩報じ一筋にたすけ合う人が弥増してお望み下さる陽気ぐらしの世の状に一日も早くお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

## 秋季霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます 本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代会長上原伊助大人光刀自の神霊 三代会長上原繁雄大人くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人朝子刀自せい子刀自の神霊 笠岡の道の始めの頃より歴代会長と共に今日の笠岡の道の礎となられた役員 部内教会長 教人 よろしく信者 諸々の神霊の前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

祖霊様方には親神様教祖より旬々に応じて各々の心をお見定め頂かれ 身上事情を通してこの道に引き寄せられました それよりは我身我家のいんねんの自覚の元 御恩報じ一筋にたすけ一条の道をお通り下さいました 今日のお道の結構な姿があるのも ひとえには親神様教祖の御守護お導きの賜である事は申すまでもありません が 又一つにはそうした祖霊様方のおちばへの真実の伏せ込み理作りの賜物と 日々は朝夕に御礼申し上げます 共に親孝心一筋にたすけ一条の御用の上に努め励ませて頂いております

分けても本日は秋の霊祭を執り行う定めの日柄でございますので 只今はおつとめ奉仕人並びに部内教会長代表の者 一手一つに心を睦び合わせて陽気に勇んでてをどりをつとめさせて頂きました 又御前に心づくしの物を供え有りし日の面影を偲び 改めて御遺徳を称え御礼申し上げる状を御覧下さいまして 祖霊様方には御心をお安め下さいますようお願い申し上げます

さて教祖百三十年祭に向けての年祭活動二年目も残すところ三ヶ月余りとなりました 本部主催のようぼくの集いを通して勇みの種を頂戴して より一層の勇み心を持つてたすけ一条の上に努め励ませて頂いておりますが 笠岡に繋がるようぼく信者が未だ一丸となつていないとは言えません 来月は秋の大祭月でございますので直轄教会に大祭参拝をさせて頂き 年祭に向けての成人目標を再確認すると共に 実践こそが 世界一列を救きたいとの親心にお応えする確かな道であるとの思いを共有し 一手一つの年祭活動となるよう努めさせて頂く所存でございます

何卒祖霊様方には 親を慕い親孝心一筋に旬の御用を通して成人の歩みを進める皆の真実の状を御覧下さいまして これまで以上に親心を以つてお見守りお力添え下さいますよう 一同と共に慎んでお願い申し上げます

## 登殿参列

◎第8回

立教177年9月26日

中村邦義(油木、室悦子(錦備)、北川治史(稲倉)、山成友司(稲富士)、北川壯一(稲讚)、友井道弘(河佐)、山田睦浩(甲井)、岡明(上父)、松谷静子(宇津戸)、高信正人(府世原)、石井守(神免)。



第八回 登殿参列

# 大教会だより

## ◎本部食堂ひのきしん

自 立教177年10月1日  
至 立教177年10月15日  
芳井 山口 晃 治

## ◎立教177年秋季大祭参拝

吸江	東悠	海松ヶ岡	芳井	陶山	ひろさと	興明	金浦	摩耶	陽備	弥高山	鶴山	久松	島根	神邊	高屋	福山
大教会奥様	上原澄雄	大教会長様	中村邦義	佐藤道孝	中村剛	佐藤道孝	上原繁道	上原繁道	中村邦義	吉岡節喜	河原節喜	大教会長様	吉岡壽	吉岡壽	大教会長様	中村剛

照陽	輝美濃	新山邑	皆部	明石市	上中市	府中市	東城	服部	島中	驛家	油木	葦陽	湯田原	神昭	美之郷	錦備	笠晴
中村邦義	上原繁道	中村剛	佐藤道孝	大教会奥様	大教会長様	大教会長様	大教会奥様	大教会奥様	佐藤道孝	大教会長様	上原繁道	吉岡壽	吉岡壽	中村邦義	吉岡壽	佐藤道孝	大教会奥様

### ※お詫びと訂正

本年9月21日発行の『かさおか 第53巻第9号』11ページ下段「教会おとまり会の報告・上下隊・感想」の6行目、「神様を使います」は「神経を使います」の誤りでした。慎んで訂正し、お詫び申し上げます。



過日、マリンライナーに乗って高松へ行った。車でなら何度も瀬戸大橋を渡っているが、電車を利用したのは初めてである。しかも座席が運転席の真後ろだったため、前方がよく見えるのだ。私は無邪気な旅行客になれるはずだった。ところが、今回の旅は講演を依頼されての出向だ

だったので、行きの車中はほとんど原稿のチェックに時間を費やし、景色を楽しむ余裕など無かった。しかし、準備を入念にしてさえいれば安心できるし、時間内にきちんとした趣旨をお伝えすることが出来るのだ。また、その経験が大きな自信になるのである。講演前後には、さぬきうどんも堪能したし、栗林公園にも案内していただいた。

帰路、一仕事済ませた開放感をシュバツと泡の出る飲み物と共に味わうはずだったが、乗車までの時間に余裕がなくあきらめた。ところが、通路をはさんだ座席では年配の夫婦らしきお二人が、仲良く美味しそうにそれをいただいている。車窓に流れる美しい瀬戸の夕景色を眺めながら「マリンライナーなんか嫌いだあ」と、私は心の中でつぶやいた。(か)



昭和47年 (1972年) 立教135年

- 8. 26 金浦分教会附属建物増築
- 9. 24 婦人会本部から辻亨子先生をお迎えし第二十回笹岡女子青年総会開催(三五〇人)
- 9. 26 川島郷分教会移転建築
- 日所在地：岡山県倉敷市玉島黒崎三千百十八番地
- 新所在地：岡山県倉敷市玉島黒崎三千五百十八番地の1
- 鎮座祭：昭和四十九年十二月八日
- 奉告祭：昭和四十九年十二月九日
- 9. 26 玉水分教会三代会長浅原 完任命(二代会長浅原はるの辞任)
- 就任奉告祭：十一月五日
- 9. 26 玉島分教会移転建築
- 日所在地：岡山県倉敷市玉島柏島六百四十番地
- 新所在地：岡山県倉敷市玉島長尾百五十一番地
- 鎮座祭：昭和五十二年十月三十一日
- 奉告祭：昭和五十二年十二月一日
- 9. 26 豊松村分教会三代会長猪原瑠璃子任命(二代会長武内有道辞任)
- 豊松村分教会移転
- 日所在地：広島県神石郡豊松村大字中平五百十四番地
- 新所在地：岡山県井原市木之子町四百六十五番地
- 9. 26 豊松村分教会を真念分教会と改称

昭和47年 (1972年) 立教135年

- 6. 2 大教会理事夫人・岡本伊志出直(百歳)
- 6. 29 岸本敏明海外伝道部長海外巡教
- 7. 1 少年会本部から宇憲義昭 川本義昭両先生を迎え縦の伝道講習会開催(四十二人)
- 7. 11 イングライアテラカフエロウシツ開設(所長:上原豊明)
- 開設場所 米国インディアナ州ブルーミントン市クレイ街五三二
- 7. 14 ニュヨーク・ジャイジンツ開設(所長:上原真雄)
- 開設場所 米国ニューヨーク市ラッシュングセブ〇道路一三六一〇六
- 7. 21 少年会笹岡団鼓笛講習会開催(二百人)
- 7. 25 第十九回ごどもおらばがえりに第一団(福山・高屋・神邊・久松)参加(二〇〇人)
- 7. 30 第二回(直轄・玉島)参加(八三人)
- 8. 6 第九回夏季英語講習会開催(八六人)
- 神殿(礼拝場を含む)内での喫煙はしない事、又喫煙する人がある時には注意する
- ・献儀は朝のお掃除完了に引き続き、撤儀は午後のお掃除直前に教服を着用してつとめる
- ・結界内(お社、神床、土中段)のお掃除は朝つとめ一時間前よりと午後三時(夕つとめの時刻により二時三十分)からの二回、服装はお掃除用白衣を着用してつとめる
- ・朝つとめ夕つとめの時、大教会教会役員以外の奉仕者は結界内右側に教服で着座する
- ・着座奉仕以外の時間は原則として神所に控える
- ・奉仕者は当番室(男子二階、女子一階)に宿直する事を原則とする
- ・奉仕日、その他神殿奉仕に関する一切の事は神事部長又は神事部長に相談する事